

 シラバス参照

授業情報 / Course Information

2022/03/10 現在

授業基本情報	授業概要情報	授業計画詳細情報
授業科目名 / Course title	地域金融機関とともに「地方創生」を考える / Regional Revitalization Promoted by Local Bank	
代表教員名 / Instructor	市田 治雄 (その他)	
代表以外の教員名 / Other Instructor or		
授業種別 / Type of class	講義・演習	
時間割コード / Registration Code	G845210	
ナンバリング / Numbering	1350702F	
開講学期 / Semester	2022年度 / Academic Year	前期 / First semester
開講曜日 時限 / Class period	土 / Sat 13, 土 / Sat 14	
単位数 / Credits	2	
科目等履修生の受入 / Acceptance of Credited Auditors	受入不可	
連絡先 / Contact		
オフィスアワー / Office hours		

授業情報 / Course Information

2022/03/10 現在

授業基本情報	授業概要情報	授業計画詳細情報
更新日 / Date of Renewal	2022/02/15	
AL度 / Active Learning	AL50	
実務家による授業回数 / Course Count	15回	
実務経験の内容、及び当該授業への実務経験の活かし方 / Instructor's practical experience and how it is utilized for this course	平成27年2月に地域創生室を創設以来、地域の様々な課題解決のために当行独自の取組を行ってきました。本講座では、各実務担当者が事例を交えて講義します。	
地域に関する実践項目 / Practice Courses	○	
授業の内容 / Course Description	我が国全体が急速な人口減少と高齢化を迎えようとしている中、栃木銀行は、平成27年2月に「とちぎん地域産業創生プログラム」を展開し、地方創生に対する取組みを行って来ました。地域金融機関として地域のさまざまな課題解決のために、地域資源を活用した地域独自の地方創生についての当行の取組みを、事例を交えて講義します。当行地域創生室とともに、実社会に提案できる課題解決策について一緒に考えていくアクティブ・ラーニング科目です。	
授業の到達目標 / Course Goals	この授業の目標は、地域の抱えるさまざまな課題について一緒に考え、ディスカッションすることで、社会人として必要とされる課題抽出力や解決力の習得、地域における金融機関の果たす役割について理解することです。地方創生の現場で起きていることについて考えることで、「あたりまえ」の中にも改善すべき課題が存在すること、またその改善策について思考する基礎を築いて欲しいと思います。	
学修・教育目標との関連 / Educational Goals	本学習を通じて、地域の魅力を引き出し、より良い地域をつくるために必要な、幅広い知識の基礎と実践感覚を養うこと。また、地域の課題を理解し、その地域資源と特性を生かした「地方創生」を考え実践できる人材の育成を目標とします。	
前提とする知識 / Prerequisites	下記に指定する「地方創生ビジネスの教科書」を一読することで、講義への理解が深まります。	
関連科目 / Related Courses	経済学概論、公共経済学、地方自治論、観光概論	
授業の具体的な進め方 / Course Methodologies	AL50：パワーポイントや資料等を用いて授業を進めます。また、講師との質疑応答・グループディスカッションを行うことで、考える力や議論する力を養います。	
教科書・参考書等 / Textbooks	増田寛也「地方創生ビジネスの教科書」文藝春秋(2015/8/30、ISBN-13:978-4-16-390316-3) 他、講師が作成するパワーポイントや行政資料等(授業の際に配布)	
成績評価の方法 / Evaluation	授業への参加態度(50%)とレポート(50%)により評価します。	
学習上の助言 / Learning Advice	授業では、当行が実際に取組んでいる事例について紹介します。日々の生活の中でも問題意識を持ち、どうしたら解決につながるかを考える癖をつけてください。	
キーワード / Keywords	地方創生、地域経済、地域金融	
SDGsとの関連 / Related SDGs	 <p>SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS</p> <p>色の有無に関わらず、17のゴールは相互につながり、関係しています。色がついているゴールはこの授業において特に関連しているゴールです。</p>	
3C 到達度チェック / 3C evaluation for achievement items	3C	9つの力
	Challenge 主体的に挑戦する	Problem identification ◎

	課題を見つけ出す力		
	論理的に考える力	Critical thinking	
	情報を使いこなす力	Information literacy	
Change 自らを変える	表現する力	Communication	○
	他者と協同する力	Collaboration	
	キャリアデザイン力	Life and career	○
Contribution 社会に貢献する	生み出す力	Creativity	◎
	チームワークを育む力	Teamwork	
	地域に踏み出す力	Citizenship	○

備考
/Notes

連絡教員：中村祐司

今後の新型コロナウイルスの感染状況により、オンライン授業に変更する可能性があります。感染状況が拡大し、AB日程となった場合は、【A日程・B日程・別日程】で行います。

シラバス参照

授業情報 / Course Information

2022/03/10 現在

回 /Time (Date and Time)	授業計画 /Class Schedule	授業時間外学修(予習および復習) /Preparation and Review	標準学修時間(分) /Expected time commitment (min)
1	栃木銀行と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」	・本授業のシラバスの内容を確認する。	15
2	地方創生を考える	・前回配布資料の内容を確認する。・発表の振り返りを行う。	15
3	地方創生を考える～町の創生～	・前回配布資料の内容を確認する。・発表の振り返りを行う。	15
4	地方創生を考える～中核都市の創生～	・前回配布資料の内容を確認する。・発表の振り返りを行う。	15
5	栃木銀行の地方創生への取組み事例～観光～	・前回配布資料の内容を確認する。・発表の振り返りを行う。	15
6	栃木銀行の地方創生への取組み事例～地域資源活用～	・前回配布資料の内容を確認する。・発表の振り返りを行う。	15
7	休講	・前回配布資料の内容を確認する。・発表の振り返りを行う。	15
8	創業支援による地方創生～なぜ創業が必要か～	・前回配布資料の内容を確認する。・発表の振り返りを行う。	15
9	創業支援による地方創生～当行の取組み～	・前回配布資料の内容を確認する。・発表の振り返りを行う。	15
10	創業支援による地方創生～ハンズオン支援の事例～	・前回配布資料の内容を確認する。・発表の振り返りを行う。	15
11	創業支援による地方創生～創業者のビジネスプラン～	・前回配布資料の内容を確認する。・発表の振り返りを行う。	15
12	地方創生ビジネスプランについて考える	・前回配布資料の内容を確認する。・発表の振り返りを行う。	15
13	企業の後継者問題と事業承継	・前回配布資料の内容を確認する。・発表の振り返りを行う。	15
14	クラウドファンディングと地域活性化事例	・前回配布資料の内容を確認する。・発表の振り返りを行う。	15
15	産業による地域の創生に向けて～グループディスカッション～	・前回配布資料の内容を確認する。・発表の振り返りを行う。	15
<p>① 1単位当たりの標準学習時間は45時間であり、授業外学修時間（予習・復習）や教育効果を踏まえて、授業の形態に応じ、15時間から45時間までの範囲で授業時間を設定しています。そのため、学生は授業時間以外に最大で30時間、自律的に予習・復習を行う必要があります。</p> <p>② 学士課程のシラバスには、授業内外における主体的な学びの促進を目的に、授業時間外学修の基礎となる内容と標準学修時間を記載していますので、これを参考として①の主旨を踏まえ適切に予習・復習を行ってください。</p>			